

東海環状道 開通区間が名神高速の迂回路として機能発揮

資料
2-2

- 大雨による名神高速(上下線)養老JCT～関ヶ原IC間が通行止め時に、開通したばかりの東海環状道(大垣西IC～養老JCT)と国道21号が迂回路として機能発揮。(※1)
- 東海環状道の開通前に比べ、一般道迂回距離が約11km短縮。
(開通前ならば、名神高速大垣IC～関ヶ原IC間が通行止めとなり、国道258号+21号を利用するため大垣市街地部を通過していましたが、大垣西IC活用により大垣市街地への交通の流入も低減したと推測されます。)
- 東海環状道の大垣西IC出入り交通量は、通常時(※2)の約2.2倍。

(※2) 次の日の同時間帯との比較



■※1 乗り継ぎの状況

東環:大垣西ICでの乗り継ぎ証明書発行数は約150枚。
(ETC利用車については、現在集計中)

■※2

インター出入り交通量の状況

【東環:大垣西IC出入交通量】

①通行止め時 :2,200台
②通常時 :1,000台
差(①-②) +1,200台(約2.2倍)

【名神:大垣IC出入交通量】

①通行止め時 :8,600台
②通常時 :5,900台
差(①-②) +2,700台(約1.4倍)

※通行止め時:9/18 15:00～24:00 の交通量
※通常時:9/19(平日交通量) 15:00～24:00 の交通量